

# 北の道先案内人 とがし遊魚がいく!

# 鮎温泉食の旅

野べら天国  
『津軽』!!

6月17日、午前5時33分、津軽は、太宰治の生誕の地・金木町の岩木川で、第1投スタートだ!

今日の同行者は、津軽では【狂】のつくほどへらキチさんで、よほどの用事がない限り毎日竿を出している木村氏と小塚氏の二人です。

僕には特別1等席を与えてくれたものの、釣りは2人に負けないくらい好きなのだ、腕は二流なもので、打っても打っても我がウキにアタリらしきものは見えず3時間あまり。ここで得意の十八番の吉幾三の岩木川を、今でも町を流れる、雪解けの水は輝き、鳥達も春の日射しに目を閉じて、ああ岩木川と口ずさんでいたら、9時42分に我が携帯の着信音である坂

本冬美「山坂千里のつづら折り、そうさ人生やるっきゃないさ!」が鳴り響いた。本誌編集長・出口さんだ

「おはようさん、お久しぶり元気がいい」の問いに、なんか元気がない様子。「あの、原稿今日中にお願いときたもんだ!

お酒大好きで優しい編集長だが、俺にとつては、鬼の編集長、だよ、今日中に送れだもん!!  
「よっしゃあ、わかった明日朝まで送るよ」とは、言ったものの、動かぬウキでは記事にならないから、木村氏&小塚氏に、どこか釣れる釣り場へ連れてって!とお願ひしたところ、  
「黒石市の二庄内ダムに行く」と言ってくれた!

二庄内ダムと言え、一昨年の6月に本誌で紹介しておりますが、その時は木村氏と苦しい思い出が...。パツテリーエンコで飛んだ災難(ほとんど人が来ない場所)、釣りは微妙なモヤモヤ感があつたがボウスで帰った2人でした

金木町からは、津軽平野の高速?農免道路を爆走、東北道、虹の湖、ランプの宿青荷温泉経由で約100分の距離だ。

11時頃にダムサイト到着!釣りをひとり発見!  
「どう?釣れてる?」  
「ウン、釣れてるよ!」管理棟付近が良いよ!と親切親切(津軽の人は本当に親切だよ!)  
我々と同時に若者二人も入座。その後のまた一人で総勢

6人!  
相変わらず透明度は抜群で、これは長竿だ!と判断して18尺のグルテンにマツシユをブレンドして3本の深宙からスタートしました。

20分位でサワリが...。でも単発サワリで決めてナシ...。そうこうしているうちに15尺の木村氏が尺2寸クラスの真つ黒なヘラブナをゲット!すぐさま若者にも同クラスがきた。

「下手な長竿!」の格言か、情けなや情けなや。  
ここで、思いっきり12尺に、エサも両タンゴへ。タナも誰でも釣れる1本半へ切り替えたのが大成功だ。俺の思い通りにウキが動いてくれ、



【空の平高原温泉】  
虹の湖から二庄内ダムへの途中2kmほどの地、左側に小屋と間違えるような建物があります。看板があるからわかりますよ。釣りの帰りに黄金の腕を癒やすには最適だ!無色透明で弱硫黄臭の源泉掛け流しで、温度調整は自分でやること。源泉は止めないでください。料金は200円!午後5時までだよ。

【蕎麦「高砂」】  
弘前市には美味しい食べ物屋さんが多くて、食いん坊の僕ちゃん困っちゃうよ。今宵は弘前では老舗中の老舗、大正2年創業の蕎麦処「高砂」で「天ざる大盛一丁だ!」店内にさりげなく置かれた骨董の数々が、何とも云えない雰囲気、これもお蕎麦の調味料?



【二庄内ダム(愛称 華の湖)】  
カラー写真だと透明度の高さがわかるがね。堰堤は200m以上あるのかな?大きな石量堤防です。コイ様がチョコチョコ遊びにきてはエサをねだってます。透明度の高さからって長竿と思いきや11~15尺で充分!底釣りだとコイ様に狙われるから1本~1本半がベストでしょう。



【あゝ~岩木川!】  
広大な広大な岩木川!常に流れがあるので、慣れない人だとなかなか難しい釣りだよ。5月下旬から7月いっぱい盛期だそうで、レギュラーサイズは尺2寸前後。流れ川の魚ゆえにハリ掛かりすると強烈な引き味で、ハリスは0.8号クラスを準備されたほうがベターだ。竿は7~11尺、エサはマツシユベースにグルテン。月例会でのトップは、10~20kgのようです。



【津軽じゃんがら鮎!】  
ほとんど産卵は終えたのかな?この日釣れたヘラはこのサイズでした。秋までは毎日ドンドン減水が続く。夏場になると水辺までの距離が大変になるよ!うだ!我が予想からこの「じゃんがら鮎」の成長は早いような感じ。10年後には尺半に...

八甲田山連峰と連なっており、ここは名物は熊出没!  
「15日には釣りを終えて帰り道、熊が道路を横断したってよ!」  
昨年は「桜の木に人が登って、何してるよと良く見たら熊ビックリ仰天腰砕け!」と木村氏。  
一人では絶対釣行しないようにして下さい。熊避けに、ダム沿いを走行する時はクラクションを何回も鳴らすこと(場所等は一昨年の6月発売本誌を参照してください)。